

おもちゃばこ

No. 80

2019年10月発行
企画・編集 子育てサークル
「おもちゃばこ」
連絡先 横手市子育て支援セ
ンター「なかよし」
0182-32-2426
印刷は横手市子育て支援課
のご協力をいただいています。

「おもちゃばこ」の 誌面が変わりました！

前号で20周年を迎えた「おもちゃばこ」の誌面がB5サイズの冊子からA4サイズのニュースレター仕様になりました。

サークルの主要メンバーが新しくなり、横手市外に在住のメンバーがほとんどになりましたが、横手市にゆかりがあったり、子育て支援に協力したいと思っているママ達です。

横手市の情報はもちろん、他地域の情報もママ目線でお伝えします。日々の子育ての合間にちょっと手に取って読んでもらえるお手紙のような「おもちゃばこ」をどうぞよろしくお願い致します。

誌面の内容は、横手市子育て情報サイト「はぐはぐ」でも閲覧できます。

誌面作りに興味がある方「おもちゃばこ」を一緒につくってみませんか。子育て支援センターの先生まで声をかけてくださいね。Facebookも継続中！



振り返る横手の夏。。。

こんにちは、おもちゃばこの高谷です。日に日に秋が深まってきましたが、横手での夏を振り返りたいと思います。

我が家は今年も横手のねむり流しに参加しました。大館に引っ越して1年ですが、8月6日の朝に帰省するのが恒例になりつつあります。

ねむり流しは各町内から蛇の崎河原に小舟と子ども達が大集合するので、沢山の懐かしいお友達やその家族のみなさんに逢うことができます。そして、お雛子演奏のためにお母さん達と購入した「マイ笛」は年に一度しか吹くチャンスがありません。なので、我が家にとってねむり流しは参加必須な行事なのです。

子ども達の太鼓と親たちの笛の音。音が大きく、早くなるにつれてお雛子が盛り上がります。たいして上手くない笛も高い音が出たりして。お祭りは参加するのが一番。息子は太鼓を叩きました。種類が違うお雛子でも関係なく楽しんでいました。



おとうさんコラムvol.9「子どもとの距離」



シーパ

52歳。妻と小5の娘、5歳の息子の4人暮らし。転勤で3年間の横手生活を経て、現在は秋田市内に住んでいます。四季のはっきりした横手は大好きです。

小学5年生の娘が反抗期を迎え、距離の取り方に苦労しています。

仕事を終え、帰宅を告げる連絡をすると、決まって「おみやげ買ってきて」。しょうがないなと思いつつ、コンビニでアイスやお菓子を手に入れます。玄関のドアを開けたとたん、父親の顔を見るより先にお目当ての品を見つけ、サーツとさらっていきます。いつものわが家の一コマです。

5歳の息子もおり、中身が違っているだけでたちまちケンカが始まります。そこで怒ると娘の機嫌を一気に損ねてしまうのです。ささいなことだとやり過ごし、できるだけ寛大な態度で接するようにしています。父親の威厳はどこへ行った、甘やかすすぎだと批判されるかもしれませんが、反抗期プラス思春期の娘の気持ちはデリケートだから厄介です。

娘が機嫌のいい時は向こうから積極的に話し掛けてきますが、そうでなければこちらから話題を振ってもスルー。心身ともに成長しているのだと理解するようにしています。

妻と話し合い、娘がテレビやスマホを見過ぎたり、忘れ物をしたり、部屋を散らかすなど日常のことで注意したり怒ったりするのは妻の役目としています。父親はおおらかな気持ちで優しく見守ってほしいと言われます。そうした妻の気遣いに感謝しつつ、女の子はつくづく面倒だなと思います。

それに比べて男の子は単純でいいですね。姉と年齢が5つ離れていることが影響しているのかもしれませんが。今はパトカーをはじめとするミニカーに夢中。あふれるほどの車たちを自分なりの法則で畳の上に並べ、小さな「街」を作っては満足しています。それに加え、最近「戦い」を挑んできます。これまで同じ年齢の子どもたちに比べ、体が小さくて心配していましたが、このごろ急に身長が伸び、たくましさを増してきました。

性格も姉とは異なり、ものすごく几帳面。脱いだ靴をきちんとそろえ、ミニカーの置き場所も決まっています。同じきょうだいなのに随分違うものだと感心しています。まだ母親に甘える部分は多いですが、息子とは今のところいい距離感を保っています。

子どもの成長に伴い、親が学ぶことはたくさんあります。気付きも多いです。そうしたことを積み重ね、家族の絆が強くなればいいなと思っています。

早っ 安っ 美味っ 飯 (まんま) は や う ま レシピ

定番お惣菜「切り干し大根」のアレンジメニュー

★切り干し大根のサラダ

ドレッシングを作り混ぜるだけ!分量も覚えやすいのがポイント!

- ・切り干し大根 40g(ぬるま湯につけて戻し、きつく絞って3cm位に切る)
- ・きゅうり 1本(千切り)
- ・ドレッシング

【マヨネーズ大1~2 とりがらスープの素小1
しょうゆ さとう 酢 ごま油 各小1
白すりごま 大1

★切り干し大根のナポリタン風

子どもが大好きなケチャップで驚きアレンジ!

水でもどした切り干し大根とピーマン(細切り)

を炒めてケチャップで味つけする。



ためして
みてね!



Let's handmade

ハンドメイドが得意なママさんが技を伝授しちゃうコーナー

ハンドタオルで簡単指人形

【材料】

・フェルト ・ハンドタオル

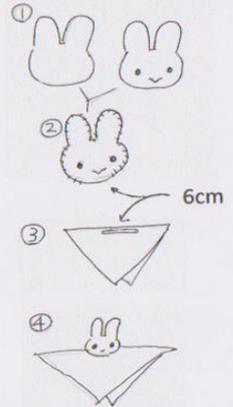
【作り方】

1、フェルトに動物の顔の形(表・裏)2枚にカットし、顔に目、口など刺繍する。

2、首の所を6センチ以外残して2枚を縫い合わせる。

3、タオルを三角に折り、中心部分に6センチ切り込む。

4、その切り込みに合わせ顔を縫いつけ、完成。



わたしのイチオシ○○○その11

～読んでみて!子連れ防災BOOK～



9月1日は「防災の日」でした。図書館から借りたこの本は、実際に被災したママパパたちの体験から作られたもので、本当に必要な情報が満載でした。

こんな場所で被災したら?という項目では、実際に美容室でパーマ中に被災したママの体験が掲載されています。避難した後で美容師さんがお湯を持ってパーマ液を流しにかけつけてくれたということでした。地震はいつくるかわからないもの。歯医者や病院、美容室などで地震にあったら...。もしもの時を想定しておきたいものです。美容師さんとの会話でそんな話をするのも良いですね。

また、さまざまな防災グッズがありますが、本当に使えるものなのか、わが家の生活スタイルに合っているのか見直してみることもなるほどと思いました。

子どもの年齢や生活スタイルによっても必要になるものが違います。普段食べ慣れない非常食は、いざとい

う時、口に合わずにストレスになるということもあるそうです。食べ慣れているレトルト食品や缶詰などを少し多めに用意するだけでも防災の第一歩ということでした。遊びの延長で非常食を食べたり、ろうそくの灯りで「防災ごっこ」をしてみるなど、子どもがいるからこそ楽しく防災していきたいものです。

千葉県では台風の被害を受け、長い期間停電や断水などが続きました。電話や携帯もつながらない、情報を得る手段がない。自分がもし被災したら、という想定をして家族で話をしておきたいなと強く思ったところです。みなさんも是非、この本を手にとって、わが家の防災について考えてみてくださいね。

・今回紹介した本

「全災害対応!子連れ防災BOOK 1223人の被災ママパパと作りました」 NPO法人ママプラグ 祥伝社

おもちゃばこメンバーのつぶやき

最近のわが家

この秋で5歳と2歳の子どもたちと一緒に遊べるようになり、ようやく楽になったと思っていたのもつかの間...。息子にイヤイヤ期がやってきた模様です。最近では毎日お風呂で終始ギャン泣き。ついこの間までニコニコ楽しそうに入っていたのに...! 一体あなたの中で何が変わったのか...! 息子に聞いたとしても答えてくれるわけもなく、泣きわめかれたときはただただ、できるだけイライラしないように感情を無にしてやり過当しています。息子の気持ちに共感して優しい言葉をかけるとか色々もっといい対応はあるかと思うのですが、今は平静を保つので精一杯...。みなさんはどうしてますか?!(みお)

おもちゃばこ

高橋麻美
高橋ハ寿子
高谷千尋
豊島佐和子
藤田美桜
松井美和

(五十音順)